

幌延深地層研究計画 平成 30 年度調査研究成果 報告会 質疑応答の概要

- 質問) ① PFI 契約*は 2019 年 3 月末までで一旦終わったと思うが、今年度 (2019 年度) はどうしたのか。
- ② 工事費は当初の PFI の契約期間の中で平均して組まれており、最近、工事はほとんど行われておらず、維持管理が中心となっている現状において、今年度の工事費がこれまでと同程度であることは理解し難い。
- ③ 今年度も同程度の工事費というのは、最初から 1 年延ばすことを想定していたというふうも思える。

- 回答) ① 当初の契約期間は 2019 年 3 月末までであったが、契約を変更し、2019 年度末までの 1 年延長した契約で行っている。
- ② 全体の契約額の中でいくらの最終支払いになるのかなどは整理されていくものと考えている。
- ③ 契約変更行為は 2018 年度にやっているため、その段階で 1 年延長するという検討や実務的な契約延長行為は行っている。

- 質問) ① 研究終了までの工程やその後の埋め戻しについては今年度 (2019 年度) 末までに明らかにするとしているが、今年度末間際に明らかにする訳ではなく、はっきりした段階で示すという理解で良いか。また、示す内容はそれが結論ではないという理解で良いか。
- ② 自治体と協議して合意の上決定するとのことであるが、その自治体というのは幌延町のことだけを指しているのか。
- ③ 住民の意見を聞くことは考えていないのか。

- 回答) ① 今年度末までに議論、検討して、令和 2 年度以降の計画を示させていただくが、自治体とも協議をさせていただき、最終的には自治体と原子力機構との合意の上で決定、というプロセスは踏みたいと考えている。
- ② [3者協定](#)締結者の幌延町と北海道庁。
- ③ 最終的な合意までのプロセスは未定であり、自治体のご意見等も踏まえつつ、調整があるものと考えている。

意見) 早く明らかにして、きちんと議論を進めてほしいと思っている。

意見) [今年 \(2019 年\) 4 月に発生した火災](#)については、巻き上げ機の誤作動が原因であったとのことであるが、万全を期して対応していると言っているが、今回のような事故が起きたことや、地下の施設や設備の耐用年数も問題ないとのことではあるものの、老朽化は故障にもつながり、事故にもつながるということから考えると、研究は 20 年程度できちんとやめていただきたい。特にガスも出ていることから、そのような事故が起きた時には非常に危険であるということも言っておきたい。

質問) 埋め戻し中の体積含水率について、解析結果と実測値に差が出たことは、解析だけの問題なのか。解析によるものであれば、例えば数値を変えて合わせるようにすれば良いのか。

回答) 500 日以降からの解析結果と実測値の開きについては、水が入ってくることによって、埋め戻し材自体が膨らみ、ある密度を持っていたものが下がっていくものの、その下がっていく過程をうまく解析上表現できていないということが、その開きの結果になっているということ。したがって、解析する上ではいろいろなパラメータや評価式を適用しているが、現象をきちんと再現できるような試験をやり、データを取って、あるいは[人工バリア性能確認試験](#)のデータを使って、評価式を作って、モデルに適用するという。解析結果の数値を変えて単に合わせるということではない。

質問) ① [オーバーパック腐食試験](#)について、溶接部分の腐食試験は今回実施していないのか。溶接部分の腐食試験を原子力機構が実施していないのは問題である。また、溶接部分の腐食と本体の腐食とは、データ上かなりの差が出ていたと記憶しているが、やめてしまっても良いのか。

② 溶接部分の腐食試験の評価はこの報告書に載っていないのか。

回答) ① 溶接部腐食試験は、原子力環境整備促進・資金管理センターが資源エネルギー庁の委託事業として実施していた試験。既に終了しており、平成 30 年度は実施していない。なお、溶接部腐食試験は原子力機構との共同研究として行ったもの。資源エネルギー庁から受託し、5ヶ年の計画で試験坑道5において実施した。

② これは平成 30 年度の成果の報告書であり載っていない。溶接部腐食試験については、現在原子力機構として行っている必須の課題の取りまとめにおいて、オーバーパック腐食試験全体として、総合的に評価しているので、必須の課題の取りまとめが公表された際に、そちらを見ていただきたい。

以 上

*Private Finance Initiative（民間資金等活用事業）の略称で、公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力、技術的能力を活用する事で、国や地方公共団体などが直接実施するよりも効率的かつ効果的に事業を実施するための方策です。

※ 青字部分をクリックすると該当資料が表示されます。

※ 青字リンク先

・ 3 者協定

<https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/disclosure/pdf/121116kyouteisyo.pdf>

・ 今年（2019 年）4 月に発生した火災（火災に関する原因と対策について）

https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/topics/31/topics_0507.html

・ 人工バリア性能確認試験

https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/research/kenkyu_jb.html

・ オーバーパック腐食試験

https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/research/kenkyu_op.html